



UR

亀戸二丁目団地

- ・実施設計 平成19・20・21年度
- ・面積:2ha
- ・住所:東京都江東区亀戸二丁目
- ・事業主:独立行政法人都市再生機構

団地再生

昭和43年の亀戸二丁目団地が完成、その度重なる部分補修を行ってきましたが社会環境の変化に対応するため、屋外空間の全面リニューアルとなりました。当団地はJR亀戸駅から徒歩8分の好立地であり重点的に居住空間のレベルアップを行う物件として景観の再構成、バリアフリー化、サイン計画、照明、雨水、污水設備、駐車場の規格の見直しを行い22年、再生工事が完了しました。



地下水位の高い現地で植栽後40年を経過した樹木は移植による負担が大きいため移植は行わず、そのままの位置、高さで残せるように広場の形状、勾配を調整し、さらに植栽スペースを広げました。

既存の都電敷石を敷き詰めた中庭は、凹凸でつまづく、雨ですべるなど、長年に渡り住民より改修要望がありました。しかし一方で名残惜しいとの声もあり、広場中央にモニュメンタルな芝目地舗装として一部を保存しました。



中庭の上空を完全に覆っていたケヤキは70%程度を間伐し住宅への日差しを回復させました。明るくなった木漏れ日のスペースには市民花壇と、これまでなかった入口を設けています。

銭座

1663年から1683年まで団地付近で、寛永通宝銭が造られ、亀戸銭座と称しました。亀戸銭座では、このほかにも1691年から1767年の間にしばしば銅銭や鉄銭を鑄造した記録が残っています。昭和41年には当時の日本住宅公団が住宅を建てる時に、多くの寛永通宝銭が発見されました。